

基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくり**推進項目**

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生
- (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流

事業の進捗状況

- ・交流人口の拡大を目的とした第12回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会（10月15日）は、昨年度同様に種目をハーフと10kmに絞り、北は北海道、南は沖縄県と全国各地から1,122名のランナーからエントリーをいただき、うち972名が完走した。大きな混乱や事故もなく、無事に大会を成功裏に終了した。
- ・「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」は、令和4年度時点で新型コロナウイルス感染症の影響を理由に中止の判断をした（4年連続中止）。
- ・「ささえるスポーツ」の担い手である「酒田市スポーツボランティア会」では、山形県縦断駅伝競走大会や湊酒田つや姫ハーフマラソン大会にてボランティア協力をした。
- ・コミュニティ振興会が主催する地区運動会等はコロナ禍をきっかけに、半日開催にするなど開催形態を見直して実施をしている。
- ・市民体育祭は、運動会形式としては今年度を最後の大会として開催した。日程を半日開催として、20チーム延べ1,260人の市民が参加した。

現状評価

- ・湊酒田つや姫ハーフマラソン大会は、県外ランナーの参加が約半数（R5：41.8%）で全国的にも知名度を上げている事業であることから、施策を推進するために事業の継続が必要であると考えます。
- ・市民体育祭は運動会形式での実施は終了となるが、世代間交流や市全体のスポーツ機運の醸成と地域の賑わいの創出に効果のある事業であるため、形を変えての事業を継続していくことが必要であると考えます。

令和6年度の予算要求に向けて

- ・湊酒田つや姫ハーフマラソン大会は、今年度大会での反省や他大会の情報収集を行いながらより安全安心な大会運営ができるよう、来年のエントリー開始までに関係者と協議を進めていく。
- ・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会は、来年度大会も中止が決定している。
- ・コミュニティ振興会及び体育振興会が主催する地区運動会等のスポーツイベントや市民体育祭の代わりにの大会についても、時代に即した開催方法を検討しながら、世代間交流や地域の一体感が図られるよう支援していく。
- ・「ささえる」スポーツの推進を目的に、「酒田市スポーツボランティア会」の活動の充実を図っていく。

数値目標

KPI	湊酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における交流人口（市外・県外）	指標値（R6）	現状値	現状値（R4）
		1,520人 (R11 1,600人)	H30 1,415人	787人

関連事業（令和5年度）

No.	事業名	活動・手段指標	目標値等	予算額
1	スポーツツーリズム推進事業	県外参加者の割合	45%	13,120千円
<p>（事業概要）</p> <p>○市主催大会等に対し負担金を支出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会（10/15 1,122人エントリー） ・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会（中止） <p>○スポーツボランティア会の育成</p>				
2	スポーツによる地域コミュニティ活性化事業	延べ参加者数（市民体育祭、市巡回駅伝）	1,700人	1,670千円
<p>（事業概要）</p> <p>○スポーツ活動を通じて市民による地域コミュニティ活性化を図るため、市民体育祭、巡回駅伝競走大会といった市民参加型のスポーツイベントを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育祭（7/2 1,260人出場） ・市巡回駅伝競走大会（11/12 開催に向けて準備中） 				